



市長 篠原 実

愛媛県



【データ】※平成31(2019)年4月1日現在

- ・人口：87,005 人
- ・世帯数：38,827 世帯
- ・面積：420.09 km<sup>2</sup>
- ・健康都市連合日本支部担当部署 四国中央市市民部保健推進課

### 四国中央市の紹介



当市は愛媛県の東端部に位置し、東は香川県に面し、南東は徳島県、更に南は四国山地を境に高知県と4県が接する地域となります。県都松山市と高松市へは約80キロメートル、高知市までは約60キロメートル、徳島市までは約100キロメートル、大阪市へ約300キロメートル、東京都まで約800キロメートルの距離にあります。

製紙、紙加工業において日本屈指の生産量を誇り、紙製品の工業製造品出荷額が全国一位。プラスチック製品などその他製品を含めると工業製造品出荷額は約6,000億円余りとなります。

高速道路が交差する交通の要衝であり、60km南に高知市、70km北東に高松市、80km西に松山市、100km東に徳島市が位置しています。高速道路網の整備により、三島川之江インターチェンジ付近での商業の集積が著しく、商業都市としても著しく発展しています。

全国的なイベントとして、平成20(2008)年度より全国書道パフォーマンス甲子園が当市で開催されています。

## 健康づくり

保健センターを健康づくりの拠点とし、四国中央市健康づくり計画「健康でいこや！四国中央」に基づき、「食生活」「運動」「歯の健康」「たばこ」「こころの健康」「飲酒」の6分野について、具体的な対策を「一人ひとりができること」「地域で助け合うこと」「行政や関係機関（保健・医療・企業等）が支援すること」について取り組んでいます。

以下、保健センターで特色のある事業・重点的に実施している事業を紹介します。

### ☆ 特色ある事業「紙のまちの子育て応援 乳児紙おむつ支給事業」

当市は日本一の紙のまちであることから「紙のまちの子育て応援、おむつのまちの子育て支援」として、地元企業2社との官民協働で本事業を実施しています。1歳未満の子どもがいる家庭に紙おむつを無償で提供するもので、対象者に「きみはまちのだから子育て応援券」を40枚配布し、市内の取扱登録店で応援券1枚と対象商品の紙おむつ1袋を引き換える方式としています。



引換券の名称には、「このまちに生まれてくれてありがとう」という祝福の気持ちと「みんなで子育てを応援しています」というメッセージが込められています。

ほかに、母子保健事業では、乳児家庭全戸訪問事業を実施しており、平成30(2018)年11月には、子育て世代包括支援センターを開設し、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援体制の構築を目指します。健康増進事業では、生活習慣病予防に重点をおいた住民参加型・体験型の健康づくり教室や、がん予防と早期発見のための啓発活動やがん検診の推進に取り組んでいます。また、精神保健事業として、こころの健康づくりや自殺予防対策に取り組み、訪問や相談事業・健康教育を通して精神保健予防活動に努め、平成30年度においては、「四国中央市自殺対策計画」を策定し、庁内及び関係機関と連携して、自殺対策の推進をはかることとしています。

また、継続事業として、例年10月第1土曜に、地域ぐるみの積極的な市民参加により健康で心豊かな市民生活の実現を目指し、四国中央市保健センターを会場に「健康まつり」を実施しています。



健康まつりに 市のマスコットキャラクター「しこちゅ〜」登場